

# オクラ

## 栽培のポイント

### ① 苗の植え付けに注意

細かい根が少なく、植え傷みが発生しやすいので注意しましょう。ポットから取り出す前に水分を含ませておき、苗を指で挟んでポット底の穴からそっと押し出すようにすると、根鉢を壊すことなく定植できます。

### ② 水やりを忘れずに

水やりは回数を増やすよりも、1回でたっぷりやると効果的です。オクラは水不足になると極端に生育が悪くなるので、十分注意しましょう。

### ③ さやが柔らかいうちに収穫を

長さが6~7cmになった頃が、収穫の適期です。ピークを迎えると、さやが次々に大きくなるので、柔らかいうちに収穫しましょう。収穫したオクラの下葉は1枚残し、それより下はすべて摘み取ることで着果が促され、風通しが良くなり病害の発生も少なくなります。



品種例  
・アーリーファイブ  
・グリーンスター など

## 栽培カレンダー



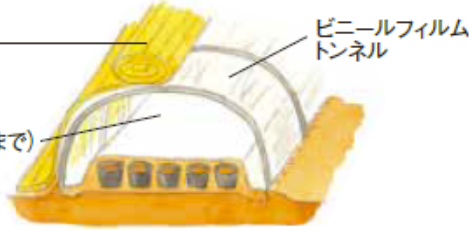
● 種まき ○ 植えつけ ■ 収穫

## 1 苗づくり

3号のポリ鉢に3~4粒の種をまく  
本葉2枚のころ、間引いて2本立てにする  
本葉3~4枚のころ、1本立てにして本葉5~6枚の苗に仕上げる

寒い夜はこもなどをかけて保温する

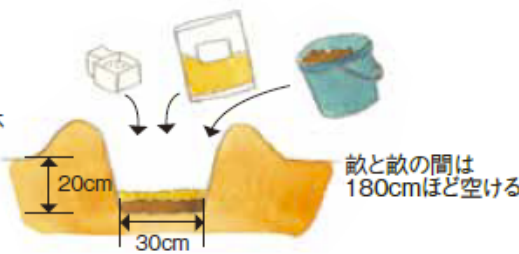
ビニールフィルム(発芽まで)



低温に弱いので、小さいうちは保温に努める

## 2 元肥入れ

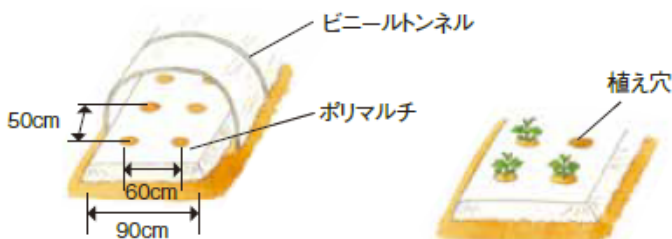
〈1株あたり〉  
油粕:大さじ5杯  
化成肥料:大さじ3杯  
堆肥:4~5握り



畝と畝の間は180cmほど空ける

## 3 植えつけ

トンネル栽培の場合はビニールで覆い、温めておく

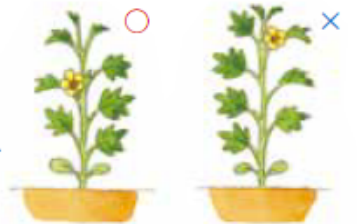


植えつけの数日前までに畝をつくり、ポリマルチをして地温を高めておく

## 4 追肥・敷きわら

植えつけて20日後、その後は15~20日に1回くらい追肥する

頂部に近いところで花が咲くのは栄養不足によって起こる。果実を思いきって若どりし、追肥をする



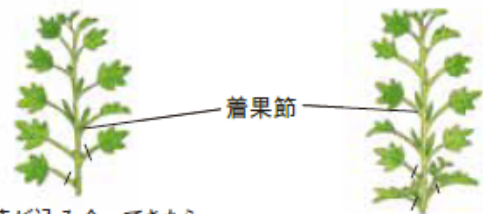
〈1株あたり〉  
化成肥料:大さじ1杯

畝の肩から通路にかけて化成肥料をばらまき、土を和らげながら畝に盛り上げる



日光が強く土が乾燥するところには、敷きわらをする

## 5 摘葉



下葉が込み合ってきたら、着果節以下1~2枚残して、その下のほうの葉を取る

生育がとくに旺盛なときは、着果節以下の葉を全部取る

## 6 収穫

開花後7~10日くらいで、長さ6~7cmのころが一番おいしい収穫の適期

断面はきれいな五角のものが良品とされている

果梗は硬いので、必ずはさみで切り取る

